令和6年度第3回笛吹市健康づくり推進協議会

開催日時:令和7年3月13日(木) 13時30分~14時40分

開催場所:笛吹市役所 本館3階 301会議室

出席者:戸田委員、秋山委員、櫻井委員、風間委員、石田委員、佐川委員、
竹内委員、石原委員、古屋委員、弦間委員、中村委員、一木委員、
石原委員、星合委員、逸見委員

欠席者:丹沢委員、向山委員、塚田委員、内藤委員、望月委員

傍聴人:2名

事務局:坂本健康づくり課長

健康づくり課 健康企画担当3名、成人保健担当3名

子育て支援課 母子保健担当1名、長寿支援課 長寿支援担当1名

【進行:坂本健康づくり課長】

1 開会

笛吹市健康づくり推進協議会設置要綱、第6条3項に委員の総数の過半数の出席をもって
成立となっており、本日20名の委員中15名の出席により会議は成立することを報告する。

2 会長あいさつ【戸田会長】

3 協議事項【議長:戸田会長】

(1) 第2次健康増進計画の評価について

(2) 第3次健康増進計画(案)について

事務局および地域設計辻堂技術士より資料に基づき説明後、委員からの質疑応答を行った。

【質疑応答・意見等】

議長 胃がん検診はバリウム検査だけか。

事務局 集団健診はバリウム検査のみ。人間ドックと個別検診は年齢制限等あるが、内視鏡検査も対象となっており選択できる。

議長 バリウム検査は人気がない気がするが、受けられる方が多いのはどちらか。

委員 毎年人間ドックで内視鏡を受けている。しかし、内視鏡は予約が先まで入っており、希

- 望する日にちでは受けられない。そのため、バリウム検査の方が多いと認識している。
- 事務局 集団健診の人数の方が多く人数になっており、バリウム検査の方が人数的には多く、胃がん検診受診率約 4 割は集団健診を受けてる方の受診率である。
- 議長 受診率を増やすため、何か今後新しい計画はあるか。
- 事務局 必要性を啓発し、受診勧奨を実施している。今後も普及啓発・受診勧奨していく。
- 議長 他市の健康診断では、ヘリコバクターピロリの抗体検査やマイクロ RNA・RNA を使ったスクリーニング検査を導入している。早期発見ということであれば、新しい検診技術を取り入れる検討をしても良いのではないか。
- 委員 基本理念のサブタイトルの表記の修正、20 ページの文章及び 58 ページ「1) 生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防」と修正をお願いしたい。
- 事務局 文言については再度確認をし、修正をしていく。健康寿命か健康長寿か再度確認したいと思う。
- 委員 高齢者のうつ病と認知症の見分け方はあるか。
- 委員 素人が判断するのは難しい。診断は病院に通院し検査してみないと分からない。受診をお勧めする。
- 事務局 認知症は高齢になれば誰しもあり、忘れっぽくなったりする。地域共生社会の中で、みんなでお互いにいつでもなる、誰もがなると思い、ともに大きく見守っていく必要がある。また、なんかいつもとは違う様子に気づき、確定診断や見極めをしてもらうためには、やはり病院に受診してもらうこと。
- 議長 まさに悩ましいところだが、うつ病は他の疾患の可能性を排除していき、他に原因となる疾患はないかを探し、最終的にうつ病と確定する。認知症は脳の萎縮や記憶力の検査をする。まずは病院に受診するのが 1 番である。
- 委員 今回の 3 次の計画は、他の個別計画との重複を避け、健康づくり課の業務を中心とした取組指標ということで、分かりやすく整理されている。当事者として今まで他課の評価はできないのではないかと考えていたが、主体的に評価判定ができるという意味では、市民として 2 次計画と 3 次計画を比較したとき、他の計画より市民が分かりやすいよう、指標等が工夫された計画になっていると感じた。

(3) 令和 7 年度の健康づくり推進協議会について

事務局より資料に基づき説明、質疑・意見等はなかった。

4 その他

- 事務局 委員の皆様から情報提供・議題等ありましたらお願いしたい。
- 委員 子宮頸がんの予防接種を、一時期受けられなかった若年層の人たちの接種期限は継続中か。どの程度接種を受けられているか。
- 事務局 子宮頸がんのワクチンは平成 9 年度までから平成 20 年度までの方を対象に、令和 7

年 3 月 31 日で終了となる予定であったが、今年度 1 回でも子宮頸がんワクチンを受けた方に関しては、令和 8 年 3 月 31 日まで延長することが決定された。

笛吹市のキャッチアップ対象者で子宮頸がんワクチンを受けてる方は少ない。7 月に受診勧奨を 1 回、3 月にも受診勧奨を行った。対象者は約 3000~3700 人だが、まだ約 2100 人は受けておらず、今回の勧奨通知で対応している状況である。

委員 対象の大学生にも受診勧奨をしてるのか。

事務局 その通り。笛吹市に住民票がある方に関しましては、受診勧奨を実施している。住所違いの方は、住民票がある自治体から受診勧奨があると思う。

委員 今の質問に補足して、対象になっている方の意思で行きたくない、受けたくないという声を聞く。その理由に、SNS 等で予防接種を受けた人の副作用に関するコンテンツの影響がある。正しい知識を知ってもらう機会があればよいと思う。

議長 子宮頸がんワクチンが開始された当初、副作用がニュースになり、推奨されない時期があった。ただ、正しい知識は伝わりにくく、子宮頸がんになる方の人数と年齢、亡くなっていく方を考えると、予防できるがんは少ないため、このメリットをどう捉えていただくかが大事になる。しかし、副作用やアレルギーが出ることも確かであるため、様々な人や専門医(産婦人科医師)に話を聞き理解を得られれば、接種の機会も増えてくるのではないかと思う。

委員 先月、住民の方から 75 歳になった方の各種検診希望調査票の欄に「人間ドック」の記載がないと相談された。人間ドックは 74 歳までは法的に義務付けられているが、75 歳以上は義務付けられていないため記載がなかったのではないかと伝えたが、この認識で良いか。

事務局 75 歳の誕生日から後期高齢者人間ドックが受けられるが、前日までの 74 歳の場合、国民健康保険加入者のみ、国保人間ドックとして申請ができ、補助を受け受診することができる。社会保険等の被扶養者は人間ドックとしては市の補助は受けられない。今回希望調査では、年度末年齢 75 歳の方に関して、加入している保険により人間ドックの補助となるか不明なため記載していない。そのため、人間ドック希望の場合は、「ドック希望」と記載するようお願いしている。また、既に希望調査票の修正を依頼しており、再来年度(令和 8 年度)は人間ドックが記載される予定である。

委員 「人間ドック希望」と書いて提出で良いか。相談された住民にそのように伝えていく。

事務局 その通りでお願いしたい。4 月の第 1 週頃、手元に受診券が届く予定であるため、確認いただきたい。

事務局 事務局から 1 点連絡させていただきたい。

令和 7 年 1 月から、造血幹細胞移植後の予防接種にかかる費用の助成事業について、資料に基づき説明する。既に広報やホームページ等で案内しているため、対象となる方やご家族に、情報提供をお願いしたい。

5 閉会

第3次健康増進計画については、3月17日(月)までパブリックコメントを受付けている。ご意見のある方は健康づくり課まで意見を願います。

また委員の皆様には、2年間協議会の委員としてご協力をいただき、感謝申し上げます。計画の策定にあたり、例年より協議会の開催回数が多少増えたが、今回策定する第3次の健康増進計画に取り組み、健康増進に努めていく。

14時40分終了